

第7回 コンクリート工学年次大会'02（つくば）実行委員会電子化部会 議事録（抜粋）

日 時：2001年8月23日（火）17:30～21:30

場所：JCI 事務局会議室

出席者：丸山部会長、中村幹事、柄、二村、森、日比野、岸本、斉藤の各委員
牧講演部会委員、田才査読委員会委員
宇野、武田（事務局）
小林ほか2名（開発計算センター）

配付資料：

- 7-0 議事次第
- 7-1 第6回電子化部会議事録（案）（中村）
- 7-2 8月6日の講演部会に出席したときのメモ（中村）
- 7-3 8月10日の査読委員会メモ（中村）
- 7-4 電子化部会作業スケジュール（二村）
- 7-5 電子化部会広報スケジュール（日比野）
- 7-6 執筆要領（案）に関する資料（森）
- 7-7 電子化部会検討内容（開発計算センター）
- 7-8 他部会への依頼事項（中村）
- 7-9 査読システム概要（柄）
- 7-10 コンクリート工学9月号会告
- 7-11 募集要項原稿

議事：

1. 前回議事録の確認（中村幹事より：資料7-1）
前回議事録を確認した。
2. 前回からの作業状況報告
 - （1）中村幹事から、資料7-2に基づき講演部会（8/6）、資料7-3に基づき査読委員会（8/10）の報告が行われた。
 - ・査読システムとしては、作成は従来通り行うが、今年度は使用しない。
 - （2）丸山部会長から8月21日に行われた年次大会委員会の報告が行われた。
 - ・電子投稿、CD-ROMへの変更が、了承・確認された。
 - ・紙版投稿に関わる別途作業代金については、部会長会議等で検討していく。
 - ・工学論文集の講演については、2003年の近畿大会までの案内の後に2004年以降は講演が出来なくなる旨の案内を掲載する形となる。
 - ・近畿大会は時期をあまり早くしないよう依頼した。以上の報告に対し、以下の意見交換がなされた。
 - ・査読委員会とのメモを二羽査読委員会幹事に送付し認識の相違がないことを確認する。
 - ・紙版投稿をどの程度告知するかについて、9/4の部会長会議で確認する。その結果に基づき、11月号会告で紙版投稿について告知する。
 - ・4月以降に機会を設け、査読システムのデモを行い、査読委員会に試用してもらうこととした。
 - ・電子投稿・査読システムについてのアンケートを終了後に行う。
3. 電子化部会スケジュールならびに広報の予定について（資料7-4、7-5）
 - ・部会長会議（9/4）にKCCにも参加してもらい、電子化についての説明を行う。
 - ・講演部会（9/10）にKCCにも参加してもらい、CD-ROM版論文集の説明を行う。
 - ・他部会と関連した項目に関するスケジュール（例えば、出力依頼に関するスケジュール等）を明確にする。例えば講演部会・査読委員会の出力形式の提示の締め切り日。執筆要領をHPに載せるための締め切り日等。また、講演部会への情報（各分野での論文数等）の提供は12

月の申込締切頃から必要となることが確認された。

- ・10月号の会告で、紙版に関する情報や、PDF ファイルのサイズの制限等、決定した事項について告知する。
- ・同様に、11月号の会告でも、執筆要領の変更点等の情報を随時載せていく。

4. 募集要項について

- ・募集要項については、紙面投稿の対応次第で変更が必要である。
- ・システム開始の都合上、締め切り日だけでなく投稿開始時の記述が必要である。

5. 執筆要領について（森委員より：資料 7-6）

- ・論文の左右マージンを等しくする。
- ・文字の大きさは、10.5 ポイントまたはそれに近い大きさとする。
- ・禁止文字は、定めておくことにする。例えば、
 - ・半角カタカナ... UNIX系マシンの制御文字を含む。
 - ・全角のローマ数字... 文字コード依存文字
 - ・全角のマル付き数字... 文字コード依存文字
 - ・全角の(株)、(有)、(日)、(月)などの略字... 文字コード依存文字
- ・パスワード設定の禁止等の注意を記載する。(KCC より情報を入手。)
- ・PDF 化の HP をつめる。FAQ を充実させる。(森、斉藤、牧委員担当。)

6. 電子投稿システムについて（KCC より：資料 7-7）

作業概要・日程について以下の事を決定し、それぞれの項目について、部会長会議および関連する部会に了承を得ることとした。

- ・HP での申込受付開始日を 10 月 15 日とする。(電子化会告(10月号)および募集要項に記載する。)
- ・申込受付 10/15~12/6
- ・査読用原稿提出 12/20~1/22
- ・査読結果の通知 3月下旬
- ・修正原稿提出 3月下旬~4月8日
- ・最終的な採否は、プログラムにより確認。
- ・年次大会 HP のトップページ(案)を作成し、部会長会議(9/4)にて検討を依頼する。
(各部会へのリンク等の確認)
- ・投稿受付の返信用メールの原稿案を作成する。
- ・4/10~5/15 の間に参加申込みを行った場合は、事前に論文集が届く。
- ・紙版の事前申込みも 5/15 まで。
- ・参加申込みのシステムは、6/10 まで稼働させる。(その後は、当日受付)
- ・参加申込みの画面タイトルは、「参加申込書作成」に変更する。
- ・参加申込みの事務軽減に対する対応を事務局と検討する。
- ・参加申込みを論文投稿者も行うような方法を部会長会議で提案する。
- ・紙版論文集申込みは、参加者のみ可能とする。(紙版論文集申込みを参加申込みのページと一緒にする。)
- ・「事前準備」の「会員登録について」を修正する。
(仮番号発行について表立って言及しないように。)
- ・問い合わせ先のメールアドレスを JCI のアドレスにする。JCI で一度目を通して、KCC に転送する。

7. HP の作成について

- ・KCC から HP 立ち上げに関して、JCI の HP を立ち上げているサーバを使用し、ドメインについては、JCI のドメインをサブドメイン化したものを使用するのが簡単で良いと提案がなされた。
- ・JCI 事務局がサーバの業者に連絡をとり、サブドメイン化が可能かどうかを問い合わせる。

- ・募集要項には、JCI のドメイン名 (<http://www.jci-net.or.jp/>) を載せ、そこから年次大会 HP へリンクを貼ることとした。

8. 他部会への依頼事項（中村幹事より：資料 7-8）

- ・10/1 までに、執筆要領およびテンプレートを査読委員会で作成してもらう必要がある。（原案は、電子化委員会で作成。）
- ・英語版執筆要領を査読委員会で作成してもらう。
- ・データベース項目、出力項目等を指定してもらう。各項目については電子化部会で検討した原案も添付する。

9. 査読システムについて

- ・査読システムのフローについて説明がなされた。資料 7-9-1 は、先日の査読委員会での「査読システムについては今年は従来通りの方法による」という決定に基づき、査読手順をフロー化したもの。また、資料 7-9-2 は査読システムを電子化した場合に加わる流れを赤文字により加筆したもの。
- ・査読の流れのうち、「最終査読結果の通知→著者による確認」の部分で、従来の紙原稿郵送ではなく査読システムによるメール通知とHP確認としたらどうかという提案が担当委員からあったが、査読委員会代表員から「今年は完全に従来通りで行いたい」旨の意見があり、今年度は最終査読結果の通知を含めて全て郵送で行うことを確認した。（資料 7-9 は訂正必要）

10. CD-ROM 版論文集について

9月10日（月）の講演部会で作成した CD-ROM の説明を行い、意見をもらうこととした。

11. その他

- ・次回 9/25（火） 15：00～18：00

以上